

一般質問

石上孝雄

(民主クラブ)

今後の東郷ダムは

問 水利権と通年通水の市長の見解について伺う。

答 本市の耕作面積の約3割にあたる東郷地区の畠地帯には、水利権がなかつたため、ダム建設による新たな農業水利の確保を国に求め、昭和47年にかんがい排水事業「東郷地区」が着工している。干ばつなどの影響を抑えると共に適期の散水に必要な水利権は、欠くことの出来ない大変重要な課題である。今後種苗などの冬期の水利用にも安定的な農業水利の確保は重要であると考えている。

問 国は水利再編とダムの一部利用を提案したが市の考えは。

答 昨年12月に北海道開発局から、東郷ダム全面改修以外の水源確保策としての提示を受けたところである。一定の方向性が出たことは評価するところだが国及び北海道の考え方を示され



東郷ダム (H18年頃左岸から)

旧樹海東小学校跡地は

問 原形復帰の進捗状況と平成24年度以降の跡地計画は。

答 施設の復旧の進捗状況は、現在その作業が進められ23年度内に完了するとの報告を受けて

いる。平成24年度以降の跡地計画は、東山地域振興連絡協議会との協議を進めながら、地域の具体的な施設を推進するための三

世代が交流する健全なコミュニティの再生を図るべく、国の幼

てないことから、将来的な市の財政にも大きく関わる課題が整理できていない状況にある。

今後も国、北海道をはじめとする関係機関・団体と十分協議を行い、安定的な水利の確保及び負担のあり方等慎重に検討していきたい。

日里雅至

(民主クラブ)

東4条街区再開発

問 行政施設(仮称)「総合こども園」決定に至る経緯は。

答 まちづくり会社より行政施設としてアトリウムなどの設置取得の提案があり、これを受け昨年10月に検討委員会を立ち上げ、計7回にわたり具体的な行政施設機能として何を設置すべきか、市の10年15年先を見据え多角的視点に立って進めてきた。

その結果、麻町保育所・中央保育所の老朽化による建て替え問題、人口減、少子化、認可保育所の再編問題など今後の財政状況を踏まえ東4条街区において認可保育所の設置を検討した結果可能と判断した。

その後まちづくり会社と協議し、子育て支援のための保育所の配置案で事業が可能との回答を受けた。この後、基本計画の具体的な施設を推進するための三

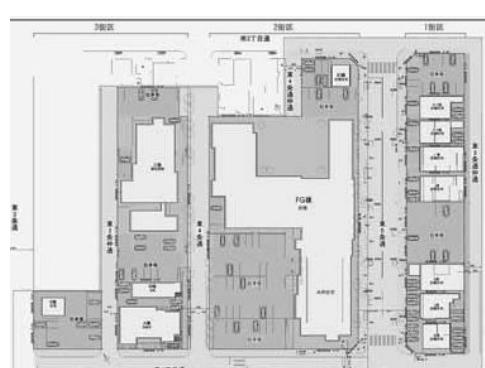
世代が交流する健全なコミュニティの再生を図るべく、国の幼保一体改革による幼稚園機能を加えた(仮称)総合こども園設置について、建設可能地として総合的に判断し12月27日の序議において設置方針を決定した。

市民周知と合意形成は。

問 市民周知と合意形成については、事業主体のまちづくり会社が1月26日に東4条街区市街地

再開発事業にかかる再開発準備会に対し(仮称)総合こども園構想を説明し、参加者全員の合意を得ている状況である。

又、市民周知と合意形成については、保護者や幼稚園関係者との意見交換会、商工会議所・商店街・各界各層の方々と協議を行い、パブリックコメントの手続きと情報共有と市民参加のルール条例の手続きを進める。



再開発事業計画イメージ図